

老人の専門医療を考える会
第29回全国シンポジウム 20070324

病院併設老健の立場から

医療法人久仁会

介護老人保健施設 いこいの家 鳴山荘

施設長 山上 敦子



徳島県の整備状況

- 介護保険施設の整備状況 平成17年 全国2位

- 介護療養病床 4,926 床 4位
- 介護老人保健施設 4,025 床 1位
- 特別養護老人ホーム 3,336 床 14位

(高齢者人口に対する割合)

- 高齡化率 23.75% (2005年3月総人口 809,950人)



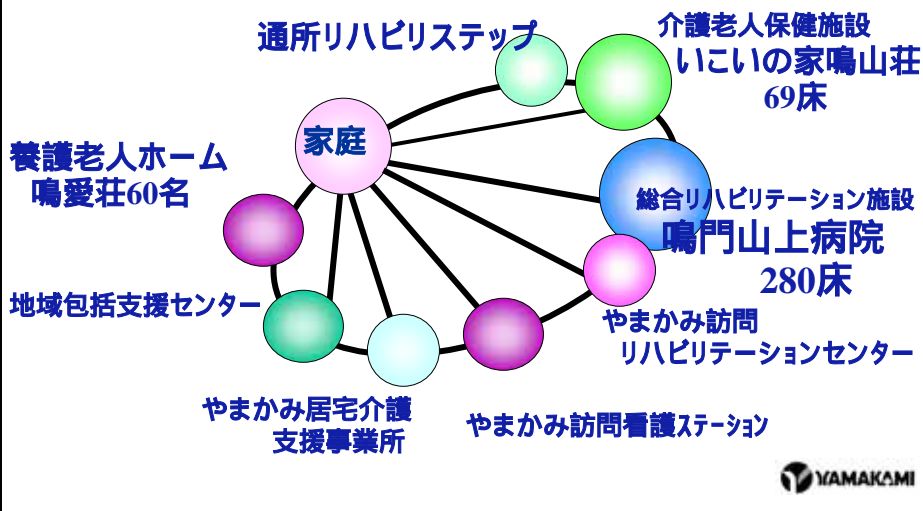
全国より10年早

- 高齡化率 55.0% (2030年推定 総人口 651,686人)

久仁会の理念

「わたしも受けたいケア、
わたしも利用したい施設
わたしたちはそれを目指します。」

医療法人久仁会 ケアネットワーク



いこいの家鳴山荘の概況

・入所定員 69名

職員構成			
医師	1名	看護職員	8名
介護福祉士	8名	介護職員	7名
支援相談員	2名	事務員	1名
理学療法士	2名	作業療法士	1名
薬剤師	1名	管理栄養士	1名
介護支援専門員		6名	

施設基準：

- ・リハビリテーションマネジメント加算
- ・短期集中、認知症短期集中リハビリテーション
- ・管理栄養士配置加算
- ・栄養ケア・マネジメント加算 ほか

鳴山荘通所リハビリテーション ステップの概況

・通所定員 100名

職員構成			
医師	1名	看護職員	2名
介護福祉士	11名	介護職員	10名
理学療法士	4名	管理栄養士（兼務）	1名
介護支援専門員	2名		

通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション
・リハビリテーションマネジメント加算
・短期集中リハビリテーション
・栄養マネジメント加算
・口腔機能向上加算 ほか

鳴門山上病院の概況

・日本医療機能評価機構更新認定（平成16年更新認定）

・総合リハビリテーション施設

診療科：

内科 外科 整形外科 リハビリテーション科

脳神経外科 眼科 耳鼻科 皮膚科 放射線科 歯科

入院： 一般病棟 40床 (15対1)
回復期リハビリテーション病棟 41床 (15対1)
医療療養病棟 79床 (20対1)
介護療養病棟 120床 (6:1, 4:1)
全 280床

病床種別毎の人員配置状況

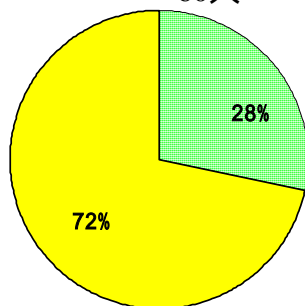
病床種別	曜日	日勤帯			夜勤帯		
		看護職員	介護職員	合計	看護職員	介護職員	合計
介護療養病棟 A 60床	月曜～土曜	5.9	7.8	13.7	1.3	1.7	3.0
	休日	3.0	4.0	7.0	1.3	1.8	3.1
介護療養病棟 B 60床	月曜～土曜	5.7	9.3	15.0	1.1	1.9	3.1
	休日	3.0	4.0	7.0	1.3	1.8	3.1
介護老人保健施設 鳴山荘 69床	月曜～土曜	4.2	8.1	12.4	0.6	1.4	2.0
	休日	2.0	2.0	4.0	1.0	1.0	2.0

利用者の状況 性別

平成19年2月28日現在

いこいの家鳴山荘

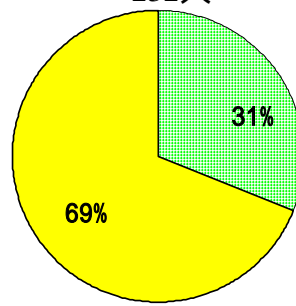
60人



■ 男性 ■ 女性

鳴門山上病院

232人



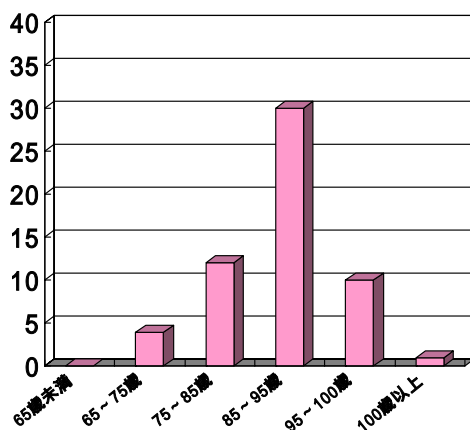
■ 男性 ■ 女性

利用者の状況 年齢分布

平成19年2月28日現在

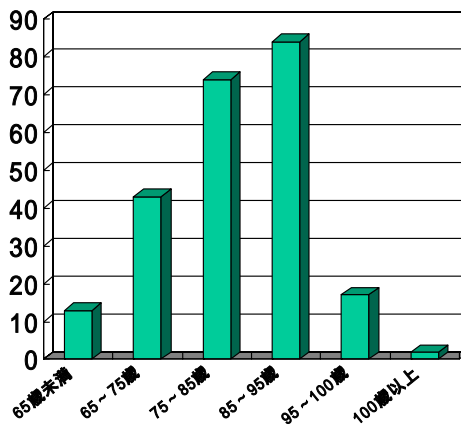
いこいの家鳴山荘

平均年齢 87.1歳



鳴門山上病院

平均年齢 81.5歳

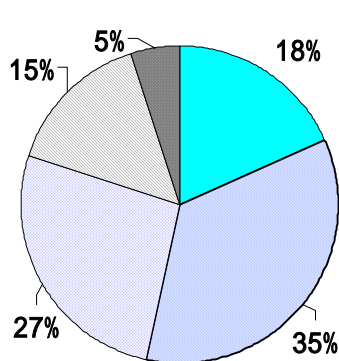


利用者の状況 要介護度

平成19年2月28日現在

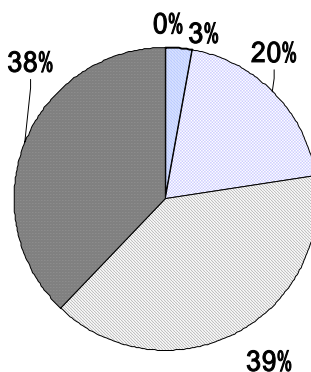
いこいの家鳴山荘

平均要介護度 2.53



鳴門山上病院(介護療養病床)

平均要介護度4.13



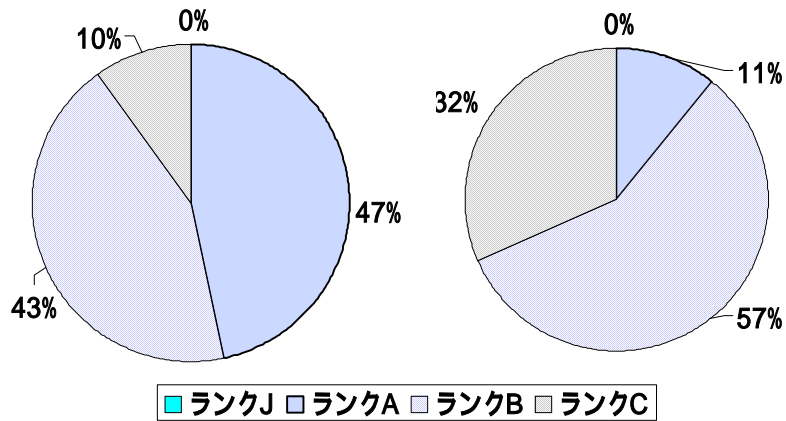
■ 介護度 ■ 要介護度 ■ 要介護度 ■ 要介護度 ■ 要介護度

利用者の状況 障害老人の日常生活自立度

平成19年2月28日現在

いこいの家鳴山荘

鳴門山上病院(介護療養病床)



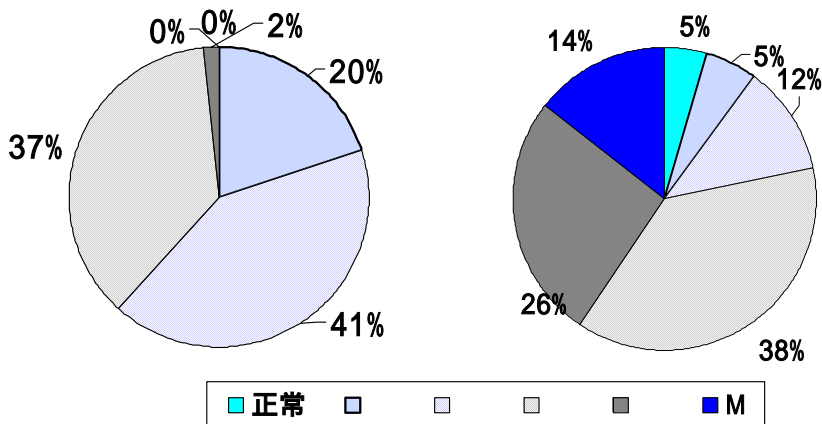
利用者の状況

認知症老人の日常生活自立度

平成19年2月28日現在

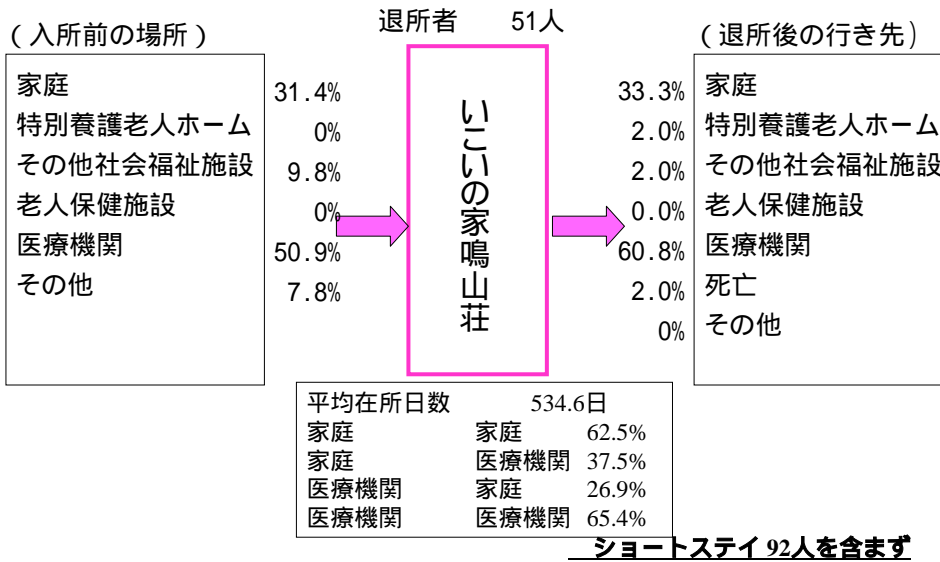
いこいの家鳴山荘

鳴門山上病院(介護療養病床)



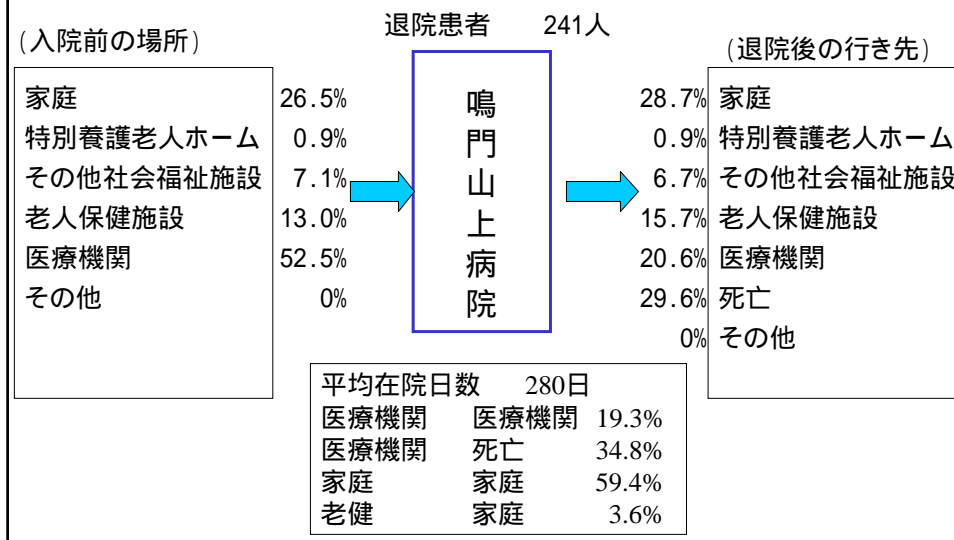
鳴山荘 入退所の状況

平成18年4月～平成19年2月



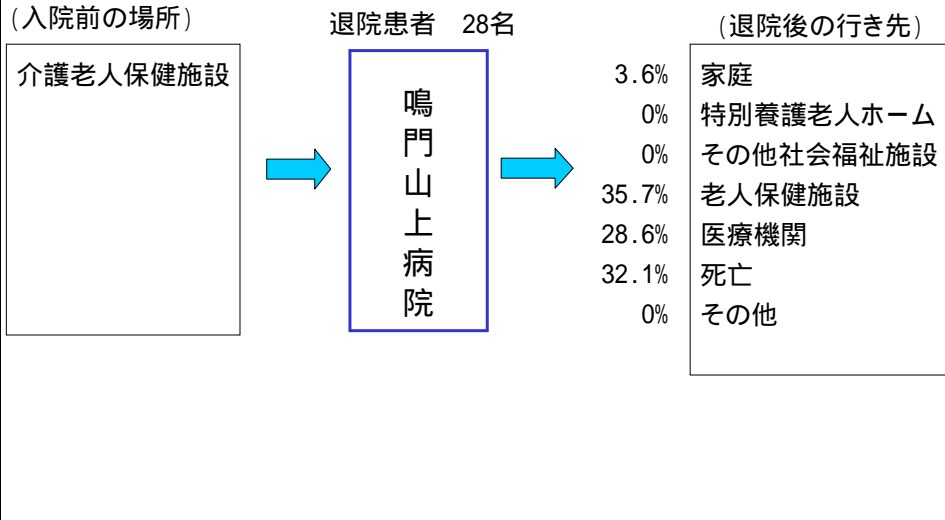
鳴門山上病院 入退院の状況

平成18年4月～平成19年2月



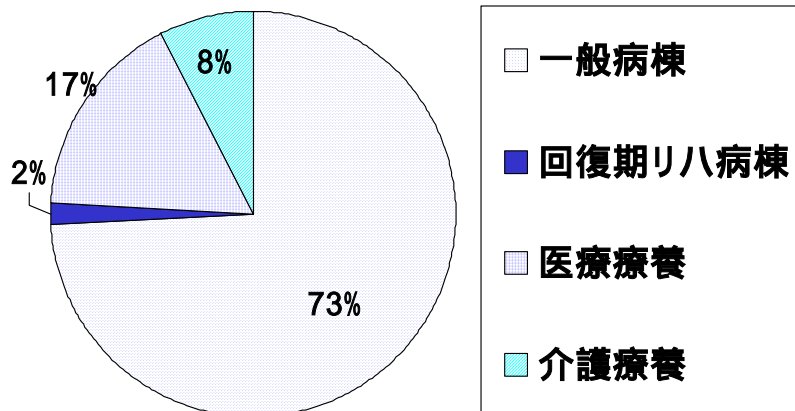
鳴門山上病院 入院後の状況

平成18年4月～平成19年2月



鳴門山上病院における 病棟種別毎の死亡退院状況

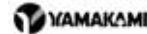
平成18年4月～平成19年2月 66人



リビングウィルについて

リビングウィルの表明をされる方は、以下にご記入ください。
この書類の提出は任意です。提出されなくても不利益をうけることは全くありません。
以下の場合についてご希望があればチェックをしてください。

- 1) 重篤であるが回復の可能性がわずかでもある場合。
苦痛をやわらげながら、積極的に医療（延命）を行って欲しい
苦痛をやわらげる治療のみをして欲しい
最小限の医療にとどめ自然にまかせて欲しい
- 2) 治療によっても病気の回復がほとんど期待できない場合。
苦痛をやわらげながら、積極的に医療（延命）を行って欲しい
苦痛をやわらげる治療のみをして欲しい
最小限の医療にとどめ自然にまかせて欲しい
- 3) 終末期（癌の末期や脳死の状態）。
苦痛をやわらげながら、積極的に医療（延命）を行って欲しい
苦痛をやわらげる治療のみをして欲しい
最小限の医療にとどめ自然にまかせて欲しい
その他にご意見、ご希望があればご記入ください。



資料提供：鳴門山上病院

いこいの家鳴山荘における 医療行為

行っている医療行為

酸素吸入・点滴等

行わない医療行為

経鼻経管栄養・IVH管理等

まとめ

- 多種類の病棟を持つ病院に併設された老健施設の現状を報告した
- 現在の老健施設の施設基準・介護報酬では、「行わない医療行為」も多い
- 病院・老健施設・在宅の連携が重要である

今後の課題

療養病床の再編に伴う

老健施設の変化への対応

医療・認知症・リハビリ・在宅支援